

ず～むあっぷ☆

オホーツク

メルヘンの丘（大空町）

No.86

農林水産省
北海道農政事務所
北見地域拠点

第三者継承

道外から北見市に移住して新規就農

なおき みち
池田直貴さん、理さん（北見市）

道外から北見市端野町に移住した池田直貴さん、理さん夫妻が、2年間の研修を終え、2024年2月から第三者継承で新規就農しました。

北見市で第三者継承

池田さん夫妻（直貴さん、理さん）は、就農前はともに農業に関わる仕事に携わっており、「いつかは農業に従事したい」と考えていました。

土地利用型農業に関心があり、道内の支援機関に相談したところ、北見市で第三者継承を希望する福田嘉博さんの紹介を受けました。

池田さん夫妻は、2019年から福田さんとの面談と農業体験を重ね、第三者継承の合意に達しました。

2022年に北見市に移住して、福田さんのもとで2年間の研修を積み、2024年2月から営農を開始。

福田さんから引き継いだ農地38haに玉ねぎ、小麦、てん菜、大豆を作付けし、無事に収穫を迎えました。



【(写真左から)福田さん夫妻、池田直貴さん、理さん】

経営者として抱える思い

池田さん夫妻は、一年間を通して自分の裁量で作物を育てていけることが農業の魅力であると感じています。そのため、周囲のアドバイスを聞きつつも、経営者としての最終的な判断は自分たちで行うことを大切にしています。

福田さんも、ときにアドバイスをしつつも、最終的な判断は池田さん夫妻に任せて、日々の農作業に向き合っていく2人を温かく見守っています。



【農作業の様子】

周囲とのつながり

池田さん夫妻は農作業の経験が浅いため、作業が十分に進んでいるか不安もあったそうです。そのような中、アドバイスをくれる周囲の先輩農家やJAきたみらい（北見市、訓子府町、置戸町）の生産組織などとともに活動する同年代の仲間など、周囲とのつながりが大きな支えになっています。また、JAきたみらいでも、池田さん夫妻と福田さんの出会いから、就農後も継続的にサポートを続けています。

池田さん夫妻は、今後について「福田さんや周囲の先輩方のように、高品質・高収量な作物を収穫できるように経験を積んでいきたい」と語ります。